

骨太方針 2022 策定に対する提言 薬剤耐性（AMR）対策の促進に向けて

2022 年 5 月 30 日
AMR アライアンス・ジャパン

骨太方針 2022 策定に対する提言

ワンヘルスアプローチによる薬剤耐性（AMR）対策を経済安全保障等の視点からも促進し、感染症の脅威に対する備えを強化するために国際的にも主導的な役割を果たす。

AMR アライアンス・ジャパンは、新型コロナウイルス感染症に匹敵する脅威であり、重点感染症（案）の 1 つとして議論が加速している AMR 感染症に対する危機管理対策を進めるため、上記の文言を、骨太方針 2022 に盛り込むことを提言する。

経済財政運営と改革の基本方針（以下、骨太方針）においては、2016 から毎年「薬剤耐性（AMR）対策の推進強化、研究・検査・治療体制の充実など」の文言が盛り込まれ、AMR 対策の重要性が明記されてきた。

『『骨太方針 2022 策定に対する提言 薬剤耐性（AMR）対策の促進に向けて』の背景』（別添）に記載の通り、国内外で薬剤耐性対策が進んでいる。来たる 2023 年の G7 議長国として、感染症対策は自国のみでは完結しないという考えに基づき、国際社会における責務を果たすことが重要である。

以上

AMR アライアンス・ジャパンとは 2018 年 11 月に設立した、AMR 対策をマルチステークホルダーで議論する独立したプラットフォーム。2022 年 5 月現在の構成メンバーは、MSD 株式会社、「子どもと医療」プロジェクト、塩野義製薬株式会社、住友ファーマ株式会社、動物用抗菌剤研究会、日本ベクトン・ディッキンソン株式会社、日本医師会、日本医真菌学会、日本医療薬学会、日本化学療法学会、日本環境感染学会、日本感染症学会、日本小児感染症学会、日本製薬工業協会、日本 TDM 学会、日本病院薬剤師会、日本薬学会、日本薬剤師会、日本臨床微生物学会、ピオメリュー・ジャパン株式会社、姫路市、ファイザー株式会社、日本医療政策機構（事務局）である。